



図書館だより



2025年
9月26日発行

秋草学園高等学校 図書館

暑さ寒さも彼岸まで、の言葉があります。9月の秋分の日前後7日間が「彼岸」の時期です。近年の温暖化により暑さはまだ残っていますが、日の長さがどんどん短くなる時期であることは変わらない季節感です。そして、秋の夜長といえば「読書」。10月には秋の読書週間があります。ここで鉄板のダジャレと行きます。「読書週間には読書を習慣にしよう」🍂

さて、買った本は読まないもったいないですよ。そんなとき、図書館の本ならば、つまらなければ途中でやめてもいいのです。逆に「ナニコレ？」という本にハマってしまうことも多々あります。とにかく本に目を通すこと。図書館の本はうってつけですので、上手に活用してください。

【英】ダガー賞に日本の2作

「ダガー賞」とは、英国推理作家協会が主催する、ミステリー小説・犯罪小説に贈られる文学賞です。その中で、英国で出版された英語翻訳小説に贈られるのが「翻訳部門賞」です。2025年、日本人作家が初めて受賞しました。受賞作・候補作どちらもミステリー(推理・謎解き)というよりも、犯罪小説といえましょう。英国での推理小説の潮流が犯罪小説に傾いているのかもしれませんが。

ダガー賞〈翻訳部門〉賞受賞作

913.6-オ 『ババヤガの夜』
王谷晶 著 河出書房新社

英訳版(The Night of Baba Yaga/
翻訳: Sam Bett/Faber & Faber)。

導入から「けんか」する体格のよい女性。ただひたすら暴力を描き、映画「キルビル」を彷彿させる背景は欧米人に受ける要素なのかもしれません。しかし、暴力の描写の裏に描かれる繊細な心理描写を通し、暴力小説から逃避行小説へと移り変わり、読者をもあざむく言葉の使い方がみごとです。英語でどのように表現しているのでしょうか。

ダガー賞〈翻訳部門〉賞最終候補作

913.6-1 『BUTTER』 柚木麻子 著 新潮社
英訳版(Butter/翻訳: Polly Barton/4th Estate)。

こちら、謎解き要素はなく、実在の事件を参考に、淡々と主人公と犯罪者の心の状態を描写している犯罪小説です。一見、グルメ小説。しかし、図書館だより4月号で紹介した『カフネ』が料理を描いて女性2人の心が洗われるのと比べ、『BUTTER』は料理によって心が乱れるという対比もおもしろいです。

ミステリーおすすめ

B913.6-7 『逆転美人』
藤崎翔 著 双葉社

本のアオリ文に「文学史に残る伝説級超絶トリック」とあります。しかし、読めども読めども事件も犯人もいない。自分は美人過ぎて不幸であるという告白を綴り、その端々に何か事件が起きているらしい言葉だけ。本当にミステリー?……事件は2/3以上進んでから。でも、その初めの2/3に違和感を持ちながら、なぜか読むのをやめられない。そして、事件が起きる。超絶トリックにうなること間違いなし。

まるでレッド・ツェッペリンの「天国への階段」の前半の静けさと後半の喧騒を思わせる作りです。

新着コーナーの気になる本

B913.6-7-16 『薬屋のひとりごと 16』
日向夏 著 イマジカインフォス

アニメが大ヒットしているので説明不要かもしれませんが、中国のような世界感のファンタジー&ミステリー小説です。主人公は「毒」が大好き。その知識と解析力をもって事件を解決する、いわば探偵物です。でも、謎解きはひとりごとで済ませるといところが謙虚。

コミック化、アニメ化とマルチメディア展開している「薬屋」ですが、始まりは小説です。オリジナルが小説であることの利点は、ストーリーの進み方が早いということです。4巻でアニメ1年分、すなわち最新16巻の部分までアニメを待つと最短でもあと3年。謎解きに引き込まれたら、ぜひ小説オリジナルを読み、アニメに先行しましょう。

司書の今月はこの本読みました

今回の図書館だよりの特集はミステリー、とのことでミステリーを求めて図書館をさまよい、『一次元の挿し木』(松下龍之介/宝島社/B913.6-マ)を手に取りました。遺伝人類学を学ぶ青年 悠。彼は4年前に失踪した妹を探し続けているのですが、ヒマラヤ山中で発掘された200年前の人骨と妹のDNAが一致するという不可解な事実と直面します。なぜこんなことが起こるのか、悠はこの謎を解くことが妹を見つけるカギになると見込み、真相解明に乗り出します。相次ぐ関係者の死、襲い掛かる死の危険、そして、トドメを刺すように彼に突き付けられた“ある一言”によって読者も何が真実なのか混乱させられます。怖いけど、おもしろい。おもしろいけど、怖い。そんな感覚でラストまで一気に読みましたが、ミステリーとして楽しめるだけでなく、科学的に「もしこんなことが本当に起きたら」と考えずにはいられない作品でした。 【今井】

